

Eleanor Smithの音楽観
— *The Children's Hymnal*(1918)の作品を通して—

Eleanor Smith's Views on Music
-through the works of *The Children's Hymnal*(1918)-

福 島 さやか
Sayaka Fukushima

Eleanor Smith の音楽観

— *The Children's Hymnal*(1918)の作品を通して—

Eleanor Smith's Views on Music -through the works of *The Children's Hymnal*(1918)-

福島 さやか

Sayaka Fukushima

はじめに

米国において音楽科は、中等学校については1917年のNEA中等教育改造審議会音楽科委員会報告、初等学校については、それを受けて1921年に発表されたMSNC教育委員会報告において成立した¹⁾。米国において20世紀初頭は、音楽科が成立する重要な時期に位置している。

Birge, E.B. (1966)は、米国における公教育における史的変遷を述べるなかで、20世紀初頭に多くの音楽教科書の出版によって、初等段階の歌曲教材が豊かになったことを指摘している。例として、1898年から出版が始まったSmith, E. (1858-1942)の著した*The Modern Music Series*や、Parker, H.らの著した*The Progressive Music Series*などを挙げている²⁾。Smith, E.はHull-House Music Schoolでも活躍していた。Hull-House Music SchoolでのSmith, E.の合唱や歌唱活動に関しては、Elrod, P.G. (2001)³⁾の研究で詳細に検討が行われている。

Smith, E.は米国の作曲家であり、音楽教育者である。先に示した*The Modern Music Series*や*Eleanor Smith Music Course* (1908-1911)を著すなど、音楽教科書の編纂にも尽力した。*The Modern Music Series*を著す以前には、*Songs for Little Children* (1887)や*Singing Verses for Children* (1897)を共著で著している。本稿では、*The Children's Hymnal* (1918)⁴⁾に所収されているSmith, E.が作曲した作品を通して、Smith, E.の音楽観の一端を明らかにす

る。また、*The Children's Hymnal* (1918)が著される以前のSmith, E.の著作物・作品や、1910年代に出版された教科書に所収されている作品の状況をふまえながら、検討を進める。

1 *The Children's Hymnal* (1918) が著される以前のSmith, E.の著作物・作品

1-1 1880年代の歌曲集 *Songs for Little Children Part I Songs and Games* (1887)⁵⁾の作品

Songs for Little Children Part I (1887)では、① Morning Songs、② Songs of the Seasons、③ Gift Songs、④ Finger Games、⑤ Marching Songs、⑥ Circle Games、⑦ Trade Songs、⑧ Miscellaneous、⑨ Closing Songsの9つに歌曲が分類され、84曲が所収されている。

① Morning SongsのなかでSmith, E.作曲《Hymn for a Little Child》が示されている。さらに、② Songs of the SeasonsのなかでSmith, E.作曲《Christmas Hymn》が示されている。前者は、16小節、4/4拍子、変ホ長調、音域はEb4-Eb5で作曲されている。作詞者は、Charles Wesleyであった。後者は、8小節、4/4拍子、ト長調、音域E4-E5、Andante con espressioneの速度と曲想に関する用語が見られる。表情豊かに歩くような速さで歌うことが意図されている。

1-2 1890年代の歌曲集 *Singing Verses for Children* (1897)⁶⁾の作品

Singing Verses for Children (1897)は、Smith, E.以

外に3名の作曲家とイラストレーター、及び作詞者とで制作されている。写真史料1⁷⁾のように、表紙では2人の子どもが歌っている姿が描かれている。リラックスした状態で歌っている様子もうかがえる。また、写真史料2⁷⁾のように、中表紙では木や多くの鳥が描かれ、自然風景のなかに作者や出版社の紹介が行われている。さらに、写真史料3⁷⁾のように、目次ページでは子どもが目次を見ている様子が描かれ、2人の子どもは手をつないでいる。左側にいる子どもは、読者の方を見ている。また、子どもの近くにはおもちゃがある。右側には猫が描かれ、猫もボールで遊んでいる

様子うかがえる。写真史料1から写真史料3には、子どもたちが歌に親しみ、味わうことを、子どもを中心として考えていく様子うかがえる。

*Singing Verses for Children*では、全18曲所収されている⁸⁾。Smith, E.が作曲を担当している楽曲は、次に示す6曲である。《Good Morning.》(p.11) 《After the Rain.》(p.22) 《Come, My dolly.》(p.26) 《My Pegasus.》(pp.35-36) 《Silver Night.》(p.59) 《Bed Time.》(p.70)。詩は、すべてCoonley, L. A.の記した詞が用いられている。楽譜が提示される前後で歌詞と絵が描かれているページが含まれている。さらに、楽譜を示す際にも余白の部分に装飾が施され、美しさが際立っている。《Bed Time》の次のページp.71には、暖炉の前にいる大人と子どもが描かれている。大人はロッキングチェアに腰かけ、子どもを抱きかかえてしっかりと見つめている。また、子どもも大人をしっかりと見つめて、両手を大人の顔に伸ばしている。ここにはあたたかさや、子どもの安心する場所、子どもを支える大人が描かれている。

最終曲であるRoot, F.W.作曲の《Christmas Song》(p.79)が提示されると、p.80ではクリスマスツリーの絵が現われ、続くページでは目次に描かれていたと思われる子ども2人が人形、ボール、犬、インコ、止まり木、椅子とともに描かれている。1人の子どもは人形を抱えてこちらを見ている。もう1人の子どもは床にあるボールに触れようとしている。

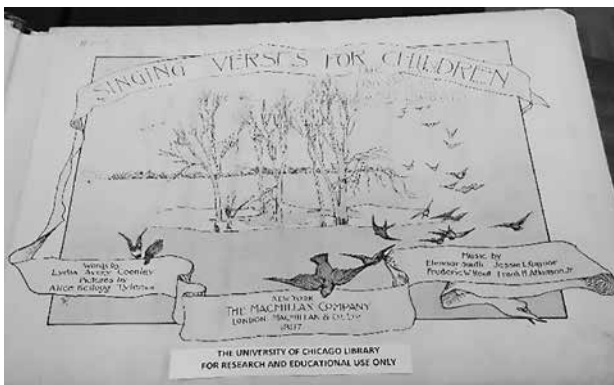
以上のように、本書では、挿絵では子どもを描いている。また子どもの興味関心が高い、生き物やおもちゃなどとともに提示する挿絵が含まれている。また歌詞の内容は、1日の生活や子どもの遊び、自然などを扱っている。このように子どもの生活に寄り添ってデザインされている。

1-3 1900年代の教科書 *The Eleanor Smith Music Course* (1908) に所収されている作品

*Eleanor Smith Music Course*において、*Book1*⁹⁾では、Root, F.W.の作曲した《Christmas Song》が1つの声部で示されている。21小節で構成されており、前奏と後奏がそれぞれ4小節含まれている。変イ長調、4分の2拍子である。*Book2*¹⁰⁾では、古くから伝わるドイツの民謡の旋律を用いて《Christmas



写真史料1 表紙 (p.1)



写真史料2 中表紙 (p.3)



写真史料3 目次 (p.7)

Song》が1つの声部で示されている。6小節、イ長調、8分の6拍子である。またBook3¹¹⁾では、《Christmas Song》が2曲所収されている。1曲目は、古くから伝わるドイツの旋律を用いて《Christmas Song》が2つの声部で提示されている。12小節、イ長調、4分の3拍子である。2曲目は、《Christmas Song》が1つの声部で提示されている。25小節、変ホ長調、4分の2拍子である。前奏と後奏がそれぞれ4小節含まれている。

これら4つの《Christmas Song》は、曲名は同じであるが、内容が異なる楽曲である。子どもたちの幅広い経験に配慮され、なおかつ学年が進むことにもなって声部が1声から2声に増加する、Book2では、6小節の《Christmas Song》を配置して短い旋律を含めるなど、段階的な提示にも配慮されている。

2 1910年代の教科書 *The Progressive Music Series* に所収されている聖歌

*The Progressive Music Series*¹²⁾では、例えばBook2¹³⁾とBook3¹⁴⁾にWade, J. F. 作曲の《Portugese Hymn》¹⁵⁾とParker, H. 作曲の《Children's Hymn》が掲載されている。Book2とBook3で同じ楽曲を示している。しかしBook2では1声で提示、Book3では4声で提示されており、段階的な提示に配慮されている。以前から親しまれている聖歌も提示している。前者は、子どもたちが慣れ親しんだ旋律と考えられる。後者は8小節、ト長調で4/2拍子である。順次進行を含める、2分音符を多く用いるなどして、子どもたちが歌いやすいように配慮されており、明るい響きの作品となっている。

3 *The Children's Hymnal* (1918) について

本書はSmith, E., Farnsworth, C. H., 及びFullerton, C. A. の3名で著されている。1911年にデトロイトで開催されたMusic Supervisors' Conferenceにおいて、この著書が準備される動きがあった。その後さらに日曜学校で用いる歌曲について検討を重ね、新しい日曜学校の音楽集が編纂されるに至った。¹⁶⁾

Farnsworth, C. H. は、*Education through Music* (1909) を著している。この著書は、*The Progressive Music Series* の教師用指導書の参考文献一覧にも示

表1 *The Children's Hymnal* (1918) の構成

番号	Subjects	スミス作曲	全曲数
1	Morning	3曲	18曲
2	Evening	0曲	11曲
3	Joy and Praise	5曲	21曲
4	The Lord's Day	0曲	6曲
5	Labor and Conflict	0曲	5曲
6	Love and Faith	4曲	37曲
7	Heaven	0曲	6曲
8	Nature	4曲	29曲
9	Processionals	2曲	9曲*
10	Feasts and Holydays	10曲	69曲*
	Subject 不明の曲	1曲	28曲
	不明の曲	2曲	26曲

表2 10 Feasts and Holidays の分類

番号	10 Feasts and Holydays の分類	スミス作曲	全曲数
1	Advent	0曲	2曲
2	Christmas	3曲	30曲
3	Easter	4曲	17曲
4	Flower Day	1曲	5曲
5	Harvest	2曲	10曲
6	Lent	0曲	4曲
7	National	0曲	1曲*

されている書籍であり、音楽教科書の内容にも影響を及ぼしている。Fullerton, C. A. は、*A One Book Course in Elementary Music and Selected Songs for Schools* (1925) を著し、蓄音機を用いた音楽教科書編纂にも携わっている¹⁷⁾。唱歌科から音楽科に移行し、蓄音機を用いて、美しい旋律を味わうとともに、音楽の諸要素の学習を行うことも計画されていた。この教科書における鑑賞に関する楽曲は、グリーグの「ペールギュント」より《朝》、ヘンデルの《メサイア》、マクダウエル《野ばらに寄せて》などの旋律が用いられている。

The Children's Hymnal (1918) には、楽曲番号が1から265まで付されている。そのうち以下の楽曲では、聖書の詩篇の御言葉が用いられている。1番《Male Me a Clean Heart》(Helen Goodrich 作曲) において詩篇 51:10 が、2番《The Blessing of Peace》(Helen Goodrich 作曲) において、詩篇 29:11 が、7番《The Eyes of All Wait Upon Thee》

表3 The Children's Hymnal (1918) に掲載されている Smith, E. の作曲した聖歌一覧

通し 番号	楽曲 番号	Subject	曲 名	詩・作詞者	調 号	拍 子	音域	速度・発想を 表わす言葉	小節 数	声部
1	8	Joy and Praise	Let the Hills Sing	—	# b なし	4/4	E4-E5	Andante	6	1
2	11	Morning	The Breaking Morn Comes Back to Bless	—	# 1 つ	6/8	D4-E5	Andantino	8	1
3	15	Morning	Come, My Soul, Thou Must be Waking	F. R. L. von Canitz	# 2 つ	3/4	D4-E5	Cheerfully	10	1
4	25	Nature	Winter Song	Samuel Longfellow	b 3 つ	6/8	E b 4-E b 5	Andante Sostenute	8	1
5	40	Joy and Praise	For the Beauty of the Earth	F. S. Pierpont	b 3 つ	3/4	D4-E b 5	Allegretto	12	1
6	46	Nature	I Love The Skies	George McDonald	b 3 つ	3/8	E b 4-F5	Moderato	16	1
7	59	Love and Faith	God is Around Us	Anita McCormick Blaine	b 3 つ	4/4	E b 4-F5	Andante Sostenute	8	1
8	77	Christmas	We Three Kings of Orient Are	J. H. Hopkins	b 1 つ	4/4	C4-F5	Allegretto con mote	17	1
9	86	Christmas	The Hope of All the Ages	Maud Sewall	b 2 つ	4/4	F4-F5	Allegro Moderato	18	1
10	95	Christmas	In Another Land and Time	Anon.	# 1 つ	4/4	E4-E5	Andante con Espressione	8	1
11	103	Easter	Easter Dawn	Lucy Larcom	# 1 つ	2/4	C4-E5	Allegro Moderato	16	1
12	106	Easter	Snowdrop, Lift Your Timid Head	Mary Hathaway	b 3 つ	2/4	E b 4-F5	Andantino	12	1
13	107	Easter	The Little Flowers Came from the Ground	Laura E. Richards	b 2 つ	4/4	F4-F5	Con anima	8	1
14	108	Easter	Easter Lilies	George Desmond	b 3 つ	6/8	E b 4-F5	Non lento	10	1
15	109	Flower Day	The Day of Flowers	T. A. Shore	b 3 つ	6/8	C4-E b 5	Allegretto	8	1
16	115	Harvest	All Summer Long	A. W. Wray	b 1 つ	4/4	C4-F5	Allegretto	8	1
17	118	—	Our Flag	Mary Slade	b 1 つ	4/4	C4-F5	Con Moto	8	1
18	128	Morning	Now the Night has Gone Away	Mary Blake	b 3 つ	3/4	E b 4-F5	Moderato	8	1
19	133	—	God is Always Near Me	Charles Wesley	b 3 つ	4/4	C4-C5	Andante	8	1
20	139	Love and Faith	Saviour, Teach Me Day by Day	Jane E. Leeson	# 2 つ	4/4	C4-E5	Moderato	8	1
21	141	不明	Jesus, Holy, Undeified	Anon.	b 5 つ	3/4	D b 4-E b 5	Semplice e Moderato	8	1
22	143	Love and Faith	Jesus, Friend of Little Children	WaLter J. Mathams	b 3 つ	4/4	C4-E b 5	Andantino	8	1
23	148	Love and Faith	God's Near	E. J. Stedman	b 1 つ	3/4	D4-E5	Allegretto	12	1
24	149	Joy and Praise	Father, We Truly Praise Thee	Helen Goodrich	# 2 つ	4/4	D4-E5	Moderato	14	1
25	154	Nature	All Things Bright and Beautiful	Mrs. C. F. Alexander	b 3 つ	2/4	D4-F5	Allegretto Semplice	16	1
26	159	Nature	God sends His Bright Spring Sun	Elizabeth Peabody	b 3 つ	4/4	E b 4-E b 5	Allegretto	8	1
27	161	Processionals	We Journey on to the Land of Love	Ellen Bert	b 1 つ	4/4	C4-F5	Joyfully	16	1
28	163	Processionals	We are Little Soldier Men	Mary Slade	b 3 つ	4/4	E b 4-E b 5	Tempo di Marcia	16	1
29	246	Harvest	Sing to the Lord of Harvest	J. S. B. Monsell	b 3 つ	4/4	B b 3-F5	With Spirit	16	4
30	263	Joy and Praise	Antiphon	George Herbert	b 3 つ	4/4 → 3/4 → 4/4 → 3/4	E b 4-F5	Maestoso	24	1
31	265	Joy and Praise	The Earth is the Lord's	Psalm XX IV	b 3 つ	4/4 → 2/4(1小 節のみ) → 4/4	E b 4-F5	Maestoso	33	1

(Helen Goodrich 作曲)において詩篇 145:15 が示されている。そして、最後に配置されている 265 番《The Earth is the Lord's》(Eleanor Smith 作曲)では、詩篇 24 が示されている。これらには喜び、平和、主の支え、主への賛美などが表れている。

また、Lowell Mason によって編曲された 196 番《Nearer, My God, to Thee》、Felix Mendelssohn-Bartholdy 作曲「エリヤ」からの楽曲 205 番《Cast Thy Burden upon the Lord》、231 番《Hark! the Herald Angels Sing》(Charles Wesley 作詩)が含まれるなど、他の作曲家の作品にも敬意を示しながら編纂が行われている。

3-1 構成

構成については、表 1 のように、著者らによって

10 の分類が確認できる。また、表 1 中の 10 Feasts and Holidays の内容を示したものが、表 2 である。全 265 曲中、Smith, E. の作曲した楽曲は 31 曲 (11.7%) である。

表 1 のように、Smith, E. の作曲している作品は、3 Joy and Praise で 21 曲中 5 曲 (23.8%)、1 Morning で 18 曲中 3 曲 (16.7%)、8 Nature 29 曲中 4 曲 (13.8%)、6 Love and Faith で 37 曲中 4 曲 (10.8%) と含まれる割合が多くなっている。また、表 2 のように Smith, E. の作曲している作品は、3 Easter 17 曲中 4 曲 (23.5%)、4 Flower Day 5 曲中 1 曲 (20%)、5 Harvest 10 曲中 2 曲 (20%)、2 Christmas 30 曲中 3 曲 (10%) と含まれる割合が多くなっている。

3-2 Smith, E. の作曲した作品

Smith, E. の作曲した作品一覧をまとめたものが表3である。詞はさまざまな作詞者のものが含まれている。調号は、b 3つ、# 2つまでの調で構成されている。拍子は4分の4拍子、4分の3拍子、4分の2拍子、8分の6拍子を中心に構成されている。拍子が曲中で変化するものも2曲含まれている。小節数は8小節以下の曲を多く含んでいる14曲(45.2%)。声部は1声が多い。音域は、8度以上で組織されている。

速度・発想を表わす言葉からは、表3中の太字で示したように、元気よく歌うものや威厳をもって歌う曲も含まれている。このことから、子どもたちが、生き生きと聖歌を歌っていくことを願っていることがうかがえる。また速度もゆったりとしたテンポのものもあれば、速いテンポを示す楽曲もある。

楽曲番号107《Easter》では、ほとんど8分音符で構成されている。楽曲番号148《Love and Faith》では♪♪♪♪♪♪♪♪の同じリズムを4回繰り返す。また楽曲番号263の《Antiphon》では、コーラス、ソロ又はセミコーラスの部分で構成されており、合唱の部分を4分の4拍子、ソロまたはセミコーラスの部分を4分の3拍子にするなど、工夫が見られる。

以上のように、全体としては聖歌集であるものの、調、拍子、速度や発想を表わす言葉などの音楽の諸要素の面でも、詩の面でも Smith, E. の作曲した作品には、さまざまな要素や異なった内容を含んでおり、子どもたちの豊かな音楽経験に配慮されている。

4 考察

Smith, E. は、*The Children's Hymnal* (1918) を著す以前に、既に *Songs for Little Children Part I Songs and Games* (1887) において聖歌を示しており、表情豊かに子どもたちが聖歌を歌うことを願っていた。クリスマスに関連する聖歌も確認できた。また、*Singing Verses for Children* (1897) では、他の作曲家やイラストレーターらと協働し、詩も大切にしながら子どもたちの生活に寄り添った歌曲の提示に力を尽くしている様子がうかがえる。

教科書に関しては、*The Progressive Music Series* では、同じ聖歌を声部の構成を学年によって変えて提示する方法を採っていることが確認できた。*The*

Eleanor Smith Music Course (1908) では、内容の異なる《Christmas Song》を、様々な学年で提示していることが確認され、子どもたちの音楽経験を段階的に広げていくことが重視されている。

The Children's Hymnal (1918) でも同様に、子どもたちの豊かな音楽経験が大切にされている。小節数は8小節以下の曲を多く含み、1つの声部で構成される曲や同じリズムを多く含むなど、子どもの歌いやすさにも配慮されている。1つの声部でありながらも、合唱とソロを含んでいる265番《The Earth is the Lord's》では、合唱とソロパートを分けることで、楽曲の構造についても子どもたちが理解しやすくなることが考えられる。*The Children's Hymnal* (1918) は、聖書の詩篇の御言葉とともに聖歌の提示が始まり、聖書の詩篇の御言葉とともに壮厳に表現する《The Earth is the Lord's》を最後に配置して曲集が閉じられており、全体的な構成にも配慮されている。

おわりに

The Children's Hymnal (1918) における Smith, E. の作品を中心に検討を行った。本書のなかでも、さまざまな聖歌の分類が行われ、子どもたちの興味関心にも配慮されている。詩や音楽の諸要素、歌いやすさにも配慮されていた。Smith, E. の作品は、学校教育における音楽経験とともに、日曜学校における音楽経験の面でも、子どもたちの生活を支えることが目指されていた。今後 Smith, E. の他の歌曲集の作品を通して、作品の特徴を明らかにして検討を進めていきたい。

注

- 1) 荒巻治美『アメリカ音楽科教育史研究』風間書房、2021、p.7.
- 2) Birge, E. B. *The History of Public School Music in the United States*, MENC, 1966, p.175.
- 3) Elrod, P. G., *Vocal Music at Hull-House, 1889-1942, An Overview of Choral and Singing Class Events and a Study of the Life and Works of Eleanor Smith, Founder of Hull-House Music*

- School*, Doctor of Musical Arts, dissertation, University of Illinois at Urbana-Champaign, 2001.
- 4) Smith, E., Farnsworth, C.& Fullerton, C. A., *The Children's Hymnal*, American Book Co., 1918. 本稿では Reprint 版 (Forgotten Books, 2018) を使用する。今回使用した資料には、白紙部分が p.275、p.279、p.281 に一部見られたため、表 1 において、Subject 不明の曲、及び不明の曲が含まれている。また、表 1 及び表 2 で*を付した箇所も、白紙部分の影響により、全曲数が異なる可能性がある。
- 5) Smith, E., *Songs for Little Children Part 1 A Collection of Songs and Games*, Milton Bradley Co., Thomas Charles Co., 1887. 幼稚園と小学校のための歌曲集である。
- 6) Gaynor, J. L., Root, F. W, Atkinson, F. H., Tyler, A. K., Coonley, L. A.& Smith, E., *Singig Verses for Children*, Macmillan Co., 1897.
- 7) 写真史料は、シカゴ大学図書館所蔵の書籍である。これらは 2018 年度の長期研修期間における、2019 年 2 月下旬から 3 月上旬にかけてのシカゴでの史料調査中に入手した資料である。
- 8) 本稿では *Singig Verses for Children* の資料の内容について、フロリダ大学のデジタルコレクション資料からも、確認している。https://ufdc.ufl.edu/UF00086415/00001 (2023 年 12 月 22 日閲覧) ページ番号は、デジタルコレクションのページ番号を使用している。
- 9) Smith, E., *Eleanor Smith Music Course Book 1*, American Book Co, 1908, p.104-p.105.
- 10) Smith, E., *Eleanor Smith Music Course Book 2*, American Book Co, 1908, p.68.
- 11) Smith, E., *Eleanor Smith Music Course Book 3*, American Book Co, 1908, p.13, p.176-p.177.
- 12) 川口さやか「米国の 1910 年代における唱歌教授書および歌曲集の構成と教授法について (1): *The Progressive Music Series Teacher's Manual* における楽曲の分析を中心として」『音楽文化教育学研究紀要』18, pp. 79-89、2006.
- 13) Parker, H., McConathy, O., Birge, E. B., Miessner, W. O., *The Progressive Music Series Book 2*, Silver, Burdett & Co., 1914, p.168.
- 14) Parker, H., McConathy, O., Birge, E. B., Miessner, W. O., *The Progressive Music Series Book 3*, Silver, Burdett & Co., 1914, pp.194-195.
- 15) 《ADESTE FIDELES》としても知られる聖歌である。
- 16) 4) に同じ。序文。
- 17) 川口さやか「初等教育段階における音楽の諸要素の学習に関する研究 --Fullerton,C.A. の蓄音機を用いた初等音楽科教育法を手がかりとして」『福岡女学院大学紀要』第 12 号、2011、pp.83-92.

謝 辞

史料調査にご協力いただきましたシカゴ大学 The Joseph Regenstein Library に感謝申し上げます。また、2018 年度の長期研修期間をいただきました福岡女学院に感謝申し上げます。